

2014年度 生理学研究所研究会
『粘膜免疫学と膜輸送生理学の融合』

日時： 2014年10月27日（月）～10月28日（火）

場所： 自然科学研究機構 生理学研究所（明大寺地区） 1階大会議室

代表者： 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 杉田 誠

世話人： 生理学研究所生体恒常機能発達機構研究部門 鍋倉淳一

持ち時間 25分の口演（発表17分、討論8分）

持ち時間 35分の口演（発表25分、討論10分）

10月27日（月） 1日目

12:30～ 受付

13:00～ 開会の挨拶

Session 1 座長 相馬義郎（慶應義塾大学）

13:05～13:30 胃幽門腺粘液細胞でのCa²⁺調節性開口放出におけるAA/PPAR α オートクリン機構の調節

○田中早織¹、松村人志¹、中張隆司²

¹大阪薬科大学 薬物治療学、²京都府立医科大学 細胞生理学

13:30～13:55 嚢胞性線維症モデルマウスから単離した小葉間腺管におけるHCO₃⁻輸送

○谷口いつか、山本明子、中荳みゆき、山口 誠、持丸由香、石黒 洋
名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学

13:55～14:30 CFTR コレクターの作用機序に基づく嚢胞性線維症の薬物併用療法

○沖米田 司

関西学院大学 理工学部 生命科学科

14:30～14:40 休憩

Session 2 座長 杉田 誠（広島大学）

14:40～15:05 Notch シグナルは proximal tubule の分化を制御し、distal tubule の伸長を阻害する

○堅田智久、櫻井裕之

杏林大学医学部薬理学教室

15:05～15:40 Paneth 細胞 α -defensin による腸内細菌叢制御と疾患との関連の解明

○中村 公則、櫻木 直也、綾部 時芳

北海道大学大学院先端生命科学研究院 細胞生物科学分野 自然免疫研究室

15:40～16:15 上皮バリアの制御機構とその破綻による慢性炎症発症メカニズム

尾畑佑樹^{1,2}、○長谷耕二^{3,1}

¹東京大学医科学研究所・国際粘膜ワクチン開発センター・粘膜バリア学分野、²千葉大学大学院医学研究院・免疫制御学、³慶應義塾大学薬学部・生化学講座

16:15～16:25 休憩

Session 3 座長 櫻井裕之 (杏林大学)

- 16:25～16:50 腎近位尿細管におけるアミノ酸輸送複合体の解析
○永森収志¹、Pattama Wiriyasermkul¹、奥山 裕久¹、Meritxell Espino Guarch²、
中込 咲綾¹、高藤 和輝¹、大垣 隆一¹、Manuel Palacín²、金井 好克¹
¹大阪大学大学院医学系研究科 生体システム薬理学、²Institute for Research in
Biomedicine University of Barcelona
- 16:50～17:15 腎集合管側底膜型 Ca 感受性受容体 (CaSR) の生理的役割
○河原克雅¹、安岡有紀子¹、佐藤雄一²、野々口博史³
¹北里大学医学部生理学、²北里大学医療衛生学部分子診断学、³北里大学メディカ
ルセンター・内科
- 17:15～17:50 唾液腺細胞におけるカルシウムシグナルの時空間制御機構と機能連関
○谷村明彦、根津顕弘、森田貴雄
北海道医療大学歯学部薬理学分野
- 17:50～18:05 総合討論
- 18:15～ 懇親会

10月28日(火) 2日目

Session 4 座長 清水貴浩 (富山大学)

- 8:30～ 8:55 腸管粘膜上皮において短鎖脂肪酸が誘発する起電性経上皮イオン輸送の部位差・種
差 — ヒトは？
○唐木晋一郎、桑原厚和
静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命学科／大学院 薬食生命科学総合学府
環境生理学研究室
- 8:55～ 9:20 味覚神経伝達を担う新規 ATP 放出イオンチャネル CALHM1 の同定
○樽野 陽幸^{1,3}、丸中 良典^{1,2}、J. Kevin Foskett³
¹京都府立医科大学大学院医学研究科 細胞生理、²京都府立医科大学大学院医学研
究科 バイオイオノミクス、³ペンシルバニア大学医学部 生理
- 9:20～ 9:55 亜鉛欠乏による皮膚炎の発症メカニズム
○川村龍吉
山梨大・医学部・皮膚科
- 9:55～10:05 休憩

Session 5 座長 宮崎裕明 (京都府立医科大学)

- 10:05～10:30 Pannexin 1 の単一イオンチャネルゲーティングキネティクス解析
○野村 健¹、樽野陽幸²、中張隆司^{2,3}、曾我部正博⁴、丸中良典^{1,2,3}
¹京都府立医大・院・医 バイオイオノミクス、²京都府立医大・院・医 細胞生理学、
³平安女学院大学 日本食育・健康研究所、⁴名古屋大学・院・医 メカノバイオロジ
ー
- 10:30～10:55 高速原子間力顕微鏡を用いた自己抗体-抗原反応の1分子動態の直接観察
○相馬義郎、山下隼人

慶應義塾大学医学部 薬理学教室

- 10:55～11:20 容積感受性アニオンチャネルのアクチン依存的活性化
○清水貴浩¹、大竹宏尚¹、藤井拓人¹、岡田泰伸²、酒井秀紀¹
¹富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）・薬物生理学、²総合研究大学院大学
- 11:20～11:45 CFTR の R ドメインを介する分子複合体の形成と相互機能制御
○杉田 誠
広島大学大学院医歯薬保健学研究院・口腔生理学研究室
- 11:45～12:00 総合討論
- 12:00 閉会の挨拶